

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	Stage I膵癌に対する手術治療成績と予後因子の検討			
2. 対象患者	2000年1月から2018年12月までに手術治療を行ったステージ1膵癌の患者さん			
3. 対象となる期間	2000年1月1日		～	2018年12月31日
4. 実施診療科等	消化器外科			
5. 研究責任者	氏名	長瀬 勇人	所属	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	近年、画像診断の進歩や検診エコーによるスクリーニングなどにより、膵癌の早期診断症例は増加傾向です。しかし、膵癌は進行度がステージ1の症例であっても5年生存率は50%以下であり良好な予後は得られていません。この研究はステージ1膵癌を検討し、予後を改善する治療法の確立を目的とします。			
8. 研究の目的	2000年1月から2018年12月の期間に、当科で切除が行われたステージ1膵癌症例21例(膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)を除く)を対象とし、診療録等を振り返ってその臨床像、病理学的特徴について検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	診療録、血液画像検査を利用し、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、画像所見、術式、合併症、予後などの手術関連情報を利用し、統計学的手法を用いて関連性を見出し、有用点、問題点を明らかにします。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 長瀬 勇人			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080